



【第44回体育祭】

校長 佐伯 英徳

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことにより、これまで学校全体で実施してきた感染対策が見直され、教育活動に対する様々な制限が緩和されつつあります。その中で5月27日（土）第44回体育祭を開催することとなり、ご来賓の皆様並びに603名の保護者の方々のご参観をいただきました。また、PTA 役員やサポーター、おやじの会の皆様には会場の巡回や駐輪場の整備等をしていただきまして誠にありがとうございました。さらに近隣の皆様には連日、放送等で大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力により無事に体育祭を終えることができました。厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度は1年生が4クラスになったことを受けて、競技形式をクラス対抗戦と縦割り対抗戦に分けました。種目については、トラックを走る競技をリレー種目のみとして、縦割り種目を2種目からの選択制に変更し「友情の文字」を3年ぶりに実施しました。すべてがコロナ前に戻ったわけではありませんが、縦割り種目や全校ダンス等において発揮された上級生のリーダーシップは素晴らしく、「上級生の姿を見て下級生が学び頑張る」という四中の伝統が見事に発揮されていましたし、今回は特に、1、2年生の頑張りが3年生の背中を押してくれていたように感じました。

1種目目の1学年種目「ジャンピング・エイト」では1年生たちの明るく元気な8の字跳びのパフォーマンスとまだ少しぎこちない結果発表の声「オ～！」で体育祭のスタートに勢いがつき、「2、3学年全員リレー」の熱戦に繋がったように思います。「大綱引き」と「グレートハリケーン」の縦割り種目では互いに健闘を称え合う姿が素晴らしかったです。「学級対抗リレー」、昼休憩を挟んでの「縦割りリレー」と「1学年全員リレー」、チーム全員の思いを背負って必死で走るアンカーの全力疾走に感動しました。2学年種目は昨年度に引き続く「アラジン」（4人1組の2チームがシートに乗せた大玉をやり取りをしながら運ぶ競技）、シートから投げ上げた大玉が風の影響を真面に受けて大変な勝負になりましたが、互いの頑張りを称える姿に2年生になった1年間の成長を感じました。競技の最後は3学年種目の「ジャンピング・ストレート」（1クラスを2グループに分けて全員が正面を向きながら跳ぶ大縄跳び）、これも大縄が風にあおられ思うように連続できず苦戦していましたが、必死で縄を回して呼吸を合わせて跳ぶ姿は忘れません。競技中の応援はもとより、たとえ失敗しても仲間からの「大丈夫、大丈夫」の声、結果発表での四中伝統のパフォーマンスである「オ～！」の掛け声、そして今年は四中生全員がシンクロした全校ダンスから「友情の文字」へと繋がりました。この「友情の文字」ですが、四中の体育祭の最後を飾る種目として、昭和58年から始まっており、友情と団結が高まった証に生徒全員で毎年公募した文字の人文字を作り、BGM以外の音が一切ない中で友情の絆を体現するもので、コロナ禍前の令和元年まで継続してきた伝統種目です。



「令和5年度体育祭、『CAN』キャン！全員で力を合わせればどんなことでもできる。この文字を今年度の四中生の友情の証とします。今年、3年ぶりに友情の文字が復活しました。そして一人ひとりがバドンを繋ぎ、ひとつの文字を完成させ、次の世代へと友情の文字が引き継がれました。これからも、この絆がいつまでも続きますように、ありがとうございました！」との生徒会長の言葉で締めくくられた「友情の文字」、最後は「みなさん！今、笑顔ですかあ？僕は体育祭が終わった後、みんなが笑顔であることを願っていましたあ！！」と熱い実行委員長の言葉で体育祭が締めくくられました。記憶に残る第44回体育祭でした。

入学式から卒業式までの中学校の3年間では、「体育祭」や「合唱祭」、「旅行的行事」や「校外学習」等が、「仲間と一緒に感動し、成就感や自己有用感を味わうこと」、「異年齢集団での活動を通して、望ましい人間関係を構築する資質を培い、多様な集団の中で共に学ぶ楽しさや厳しさを体得させながら豊かな社会性や人間性を身につけさせること」を目的として実施しています。今後につきましては、本校の良き伝統と校風を継承しながら、時代の変化や地域社会の要請を真摯に受け止め、現状を適切に分析・把握しながら、アフターコロナを見据えて、学びの保障から質の向上を目指して取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、皆様方の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

生徒総会

4月28日（金）生徒全員が一堂に会した形で生徒総会を開催することができました。生徒会役員をはじめ、各学年委員長や各専門委員長等、当日までの準備と運営に一生懸命に取り組んでくれました。総会本番では議長団の見事な進行と堂々とした態度で質問してくれた発言者のみなさん、そして真剣な態度で参加してくれた全校生徒のみなさん、とても立派で頼もしかったです。生徒会活動とは全校生徒が会員となり、自分たちの学校生活の改善・充実を目指すために、生徒の立場から自発的・自治的に行われる活動です。今回、生徒会からの提案理由にもあったとおり、「伝統」という意識を高め、狛江四中を地域の方々から信頼される学校にしていくために、全員でがっちりとスクラムを組んで前進できることを願います。



※ 学校 HP 版には月予定を掲載していません。また、写真の方も配布用のものと差し替えています。